

## Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

## About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

『文化生活』解説・総目次・索引

不二出版





『文化生活』

第一卷第一号 一九二二(大正一〇)年六月一日

(＊画)

(＊清宮 彬)

表紙

『文化生活』の公刊に就いて

森本 厚吉

(2)

余裕と文化

有島 武郎

3 ～ 9

亡国の予言 鄭鑑録——日本と朝鮮との交渉に

関する研究の一

吉野 作造

10 ～ 12

文化生活の出発点

三宅雄二郎

13 ～ 17

優生雑話

永井 潜

17 ～ 21

人の世になる迄——生活進化の研究其一

森本 厚吉

22 ～ 31

トルストイのこと

吉野 生

31 ～ 33

編集室より

A/B

(34)

第一卷第二号 一九二二(大正一〇)年七月一日

(＊画)

(＊清宮 彬)

表紙

私の文化生活観

吉野 作造

(2)

生活の高い低い

三宅雄二郎

3 ～ 7

東学及び天道教——日本と朝鮮との交渉に関する研究の二

吉野 作造

8 ～ 13

生活の芸術家

西村 伊作

14 ～ 18

料理の根本精神——科学と芸術との合致

手塚かね子

19 ～ 26

自然生活から経済生活へ——生活進化の研究(其二)

森本 厚吉

27 ～ 34

ホイトマンの詩より

有島武郎訳

35 ～ 37

編集室より

係

(38)

第一卷第三号 一九二二(大正一〇)年八月一日

(＊画)

(＊清宮 彬)

表紙

自然と人

有島 武郎

(1)

呪ふべき二つの生活

森本 厚吉

2 ～ 7

小弱者の意気——日本と朝鮮との交渉に関する研究の三

吉野 作造

8 ～ 13

乳児の保護 (上)

永井 潜 14 ~ 19

想像力と音楽

田辺 尚雄 20 ~ 24

経済生活の現出——生活進化の研究 (其三)

森本 厚吉 25 ~ 29

自己を歌ふ (抜萃)

ワルト・ホイットマン、有島武郎訳

30 ~ 35

(\*原文)

WALT WHITMAN

36 ~ 40

編集室より

後付 1

第一卷第四号 一九二一(大正一〇)年九月一日

(\*画)

(\*清宮 彬) 表紙

(\*画)

Y (1)

今日の人

森本 厚吉 2

賢者ナータン

吉野 作造 3 ~ 11

個体発生と系統発生

石川千代松 12 ~ 16

住宅組合に依つて建設せらるゝ住宅の改良

佐野 利器 17 ~ 20

乳児の保護 (下)

永井 潜 21 ~ 28

自然と人の闘争——生活進化の研究 (其四)

自己を歌ふ (抜萃)

森本 厚吉 29 ~ 35

ワルト・ホイットマン、有島武郎訳

(\*原文) WALT WHITMAN 36 ~ 40

(\*挿画) Y 45

編集室より (46)

第一卷第五号 一九二一(大正一〇)年一〇月一日

(\*画)

(\*清宮 彬) 表紙

(\*画)

Y (1)

此夏の旅に於て

吉野 作造 2

婦人と経済生活

河津 暹せん 3 ~ 8

奮闘生活の武器——生活進化の研究 (其五)

森本 厚吉 9 ~ 15

フリー・メーションリーの話

吉野 作造 16 ~ 20

人殺しと動物殺し

三宅雄二郎 21 ~ 24

二重生活と衛生——靴と文化生活、握手と文化

生活、接吻と文化生活 佐藤 彰 25 ~ 28

最近欧米に於ける文化生活の真相——屋内生活

に就ての考察 松村 松年 28 ~ 35

ストリンドベルヒ『或魂の開展』より

和辻 哲郎 36 ~ 38

自己を歌ふ(抜萃)

ワルト・ホイットマン、有島武郎訳 39 ~ 46

編輯室より 後付 1

第一卷第六号 一九二二(大正一〇)年二月一日

(\*画) (\*清宮 彬) 表紙

(\*画) ヤスヲ (1)

文化生活の第二思想 森本 厚吉 (2)

生活といふこと 有島 武郎 3 ~ 6

(\*挿画) Y 3

石工の技術から人類愛の訓育に——フリー・

メーンソリーの話の続き 吉野 作造 7 ~ 12

十月号正誤 12

雀の説教 賀川 豊彦 13 ~ 14

世界の老嬢 永井 潜 15 ~ 22

二重生活と衛生——ヒーチングと文化生活お茶

と文化生活 佐藤 彰 23 ~ 25

佐藤博士と新小児疾患 25

最近米国学界の趨勢——エール大学総長の交迭

と停年法 村田 勤 26 ~ 28

機械の世から平和生活へ——生活進化の研究

(其六) 森本 厚吉 29 ~ 36

自己を歌ふ(抜萃)

ワルト・ホキットマン、有島武郎訳 37 ~ 40

(\*原文) WALT WHITMAN 41 ~ 44

(\*挿画) Y 44

編輯室より 後付 1

第一卷第七号 一九二二(大正一〇)年二月一日

(\*画) (\*清宮 彬) 表紙

(\*画) Kaz. (1)

原さんの暗殺と人の運 吉野 作造 (2)

物的文化生活論——私の文化生活観疑義に答ふ

森本 厚吉 3 ~ 18

フリー・メーンソリーと独逸皇室——フリー・

メーソンの話の続き

文化生活的な死に方

天文の趣味

祝祭と行楽

異国に在る友達の便り

自己を歌ふ(抜萃)

ワルト・ホキットマン、有島武郎訳

(\*原文)

WALT HWITTMAN

編集室より

第二巻第一号 一九二二(大正一一)年一月一日

(\*画)

新らしき書齋に於ける吉野作造氏(\*写真)

大正十年十一月三日桑港婦人平和協会に於ける

井上秀子女史(\*写真)

(\*画)

自由は与へられず

魂の共感——谷崎潤一郎氏の創作を読んで

吉野 作造

吉野 作造

佐藤 彰

山本 一清

阿部 次郎

吉野 作造

41 ~ 45

45 ~ 49

(50)

彬 表紙

口絵 1

口絵 2

(1)

(2)

3 ~ 7

一九二二年と自己の能率調べ

生活を宗教にまで

神の愛

飯倉だより

驚異

近代人と日本音楽

軍備制限より産児制限へ

文化生活者の若返り法

華盛頓会議の時刻

編集室より

第二巻第二号 一九二二(大正一一)年二月一日

(\*画)

田園文化運動の開始

生活よりデョーナリズムを排せよ

大隈侯の文化方面

国際文化とエスペラント

憧がれし世

柔かな草

森本 厚吉

西村 伊作

柳 宗悦

島崎 藤村

有島 武郎

田辺 尚雄

松村 松年

佐藤 彰

山本 一清

8 ~ 12

13 ~ 17

18 ~ 23

24 ~ 26

27 ~ 28

29 ~ 34

35 ~ 39

40 ~ 47

(48)

47

彬 表紙

森本 厚吉 (2)

有島 武郎 3 ~ 6

三宅 雪嶺 7 ~ 9

小坂 狷二 10 ~ 15

森本 静子 16 ~ 18

吉田絃二郎 19 ~ 22

神の存在の証明方法 佐藤 彰 23 ~ 29  
 生き方の進化——生活進化の研究(其七)

菊畑を観るの記 森本 厚吉 30 ~ 35  
 吉野 作造 36 ~ 41

失敗した男女の叛逆者に  
 ワルト・ホキットマン、有島武郎訳 42 ~ 44  
 (45) 編輯室より

第二卷第三号 一九二二(大正一一)年三月一日

(\*画) 吉野 作造 表紙  
 彬

クルランボオ 森本 厚吉 3 ~ 8  
 高橋首相の生活観 永井 潜 9 ~ 14

国家と生殖 武者小路実篤 15 ~ 19  
 与謝野晶子

雑感 「文化生活研究」より(\*抜萃) 柳 宗悦 20 ~ 26  
 宗教詩「霊の暗夜」 上代 たの 27 ~ 29

心の原勢 河津 暹 30 ~ 35

文化生活問答 松村 松年 36 ~ 39  
 文化生活と長命

書齋より読者へ 吉野 作造 40 ~ 45  
 臨終の人に

ワルト・ホキットマン、有島武郎訳 46 ~ 47  
 (48) 編輯室より

第二卷第四号 一九二二(大正一一)年四月一日

(\*画) 小児の寝顔 有島 武郎 表紙  
 彬

現今労働運動に対する私の立場 吉野 作造 3 ~ 9  
 (2)

国家と生殖(承前) 永井 潜 10 ~ 12  
 少ない金での生活 西村 伊作 13 ~ 17

婦人と独立 三宅やす子 18 ~ 22  
 民衆文化に就て(「文化生活研究」より)

姉崎 正治 22  
 基督は神か人か 佐藤 彰 23 ~ 31

ダンテ神曲「天堂篇」より 山川丙三郎訳 31  
 文化生活と長命(承前) 松村 松年 32 ~ 36

新刊紹介 メンガー、河村又介訳『新国家論』／成瀬無

極『近代独逸文芸思潮』

結婚生活の悲哀と産児制限

お詫び

編輯室より

編輯室より

第二卷第六号 一九二二(大正一一)年六月一日

第二卷第五号 一九二二(大正一一)年五月一日

(\*画)

自由の生活

互ひの立場を認めよ

神の理解

宗教と科学及哲学

文化と変質

文化生活と人口問題

現代の庭園と公園

農民風の文化生活

人道の戦士に対する迫害——フリー・メーソン

リーの話の続き

(\*英国公使富士登山に関する瓦板)

結婚生活の悲哀と産児制限(承前)

(\*画)

教育者遊興問題

プロレタリアの文化生活

文化生活の一步——権柄より親切へ

東西文化を較べ見て

婦人の礼服

小さい芸術

犠牲礼拝

書斎より読者へ——魯国帰還漂民のこと

星の美(「星座の親しみ」より)

己れを主とするもの

死の恐怖(創作)

編輯室より

(46)

森本 厚吉 37

有島 武郎 44

(45)

(\*画)

T. NAKAMURA

表紙

彬 表紙

(2)

有島 武郎 3

柳 宗悦 7

森 明 14

杉田 直樹 15

帆足理一郎 19

田村 剛 25

西村 伊作 29

吉野 作造 33

森本 厚吉 36

森本 厚吉 34

36

(47)

山本 一清 38

有島 武郎 39

武者小路実篤 41

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

第二卷第七号 一九二二(大正一一)年七月一日

編輯室より

井上 秀子 48 ~ 49

(50)

(\*画)

生命によつて書かれた文章

有島 武郎

A. 表紙 (2)

軽佻なる毀譽褒貶——最近私の周辺に起つた事

ども

吉野 作造

3 ~ 7

享楽主義の立場から——改造運動に就いての一

考察

倉田 百三

8 ~ 15

天然風景地の民衆化

田村 剛

16 ~ 19

宇治(「霧の王国へ」より)

別所梅之助

19

人間の社会と動物の社会

山田 わか

20 ~ 23

勤務時間と文化生活

安部 磯雄

24 ~ 26

余暇生活問題

森本 厚吉

27 ~ 33

新婚の生活に入る人へ

西村 伊作

34 ~ 37

蝶の一生

松村 松年

38 ~ 43

書齋より読者へ

吉野 作造

44 ~ 47

『二重政府と帷幄上奏』(吉野作造近著)

(\*吉野作造)

47

米国と婦人の力——最近の米国より

第二卷第八号 一九二二(大正一一)年八月一日

(\*画)

西洋の役人と日本の役人

吉野 作造

2

日本文化の生理的基礎

森本 厚吉

3 ~ 12

哲学果して後れたるか

桑木 巖翼

13 ~ 16

創造衝動と性慾衝動(\*「芸術創作の心理」より)

園 頼三

16

全一なる神

柳 宗悦

17 ~ 22

夏(歌)

松村みね子

23 ~ 24

花柳界の奴隷たる日本音楽

渡辺 鉄蔵

25 ~ 28

国を亡ぼす音楽

田辺 尚雄

29 ~ 33

夏と文化生活

杉田 直樹

34 ~ 40

ライン河畔より

井上 秀子

40

雑草(感想)

吉田絃二郎

41 ~ 45

人間味ゆたかな遊星(山本一清氏近著『遊星と

りぐ』の序より)

(\*山本一清)

45

書齋より読者へ——桂川甫周のこと

吉野 作造 46〜48

余白をかりて読者に訴ふ

吉野 作造 48

編輯室より

(49)

第二卷第九号 一九二二(大正一一)年九月一日

(\*画)

個性の発見と生活の革命

森本 厚吉 2〜3

理想主義の立場の鼓吹——阿部次郎君の「人格主義」を讀みて

吉野 作造 4〜7

英国新聞王の死と世界文化

三宅雄二郎 8〜11

新著紹介 田辺尚雄『家庭踊解説』

高柳 賢三 12〜18

文化生活と弁護士業

住宅は子供のもの

佐野 利器 19〜22

「文化生活研究住宅論」より(\*抜萃)

女中問題について

三宅やす子 23〜26

女中の害(森本厚吉氏著『生存より生活へ』より)

(\*森本厚吉)

宗教的『一』

柳 宗悦 27〜32

新しき村より——村の最初の労働祭に

武者小路実篤 33〜35

新しきノアの箱舟——諸遊星間に於ける地球の

特種的地位

山本 一清 36〜41

自然は男性を虐待す

松村 松年 42〜47

生れ変わる秘法(其一)

佐藤 彰 48〜50

編輯室より

(51)

第二卷第一〇号 一九二二(大正一一)年一〇月一日

(\*画)

外殻を突破せよ

吉野 作造 (2)

婦人生活の思想的背景

森本 厚吉 3〜8

婦人解放と遺伝学

婦人と消費経済

永井 潜 9〜14

再び社会的変質に就て

『二重政府と帷幄上奏』より(\*抜萃)

杉田 直樹 20〜24

(\*吉野作造)

日本語歌曲に対する雑考

柳 兼子 25〜29

秋日夜光——A氏に宛た手紙

富本 一枝 30〜37

魂の香	吉田絃二郎	38	41
本能生活は果して悪なるか	松村 松年	42	46
ターレスとヒパルコスへの賛辞〔天文と人生〕 より)			46
生れ変わる秘法 (承前)	佐藤 彰	47	50
編輯室より		(51)	

第二卷第一号 一九二二(大正一一)年一月一日

(*画)	A.	表紙	
節約運動の文化的意義	森本 厚吉	2	3
新英雄主義 (上)	吉野 作造	4	8
享楽主義の立場から——改造運動に就いての一 考察	倉田 百三	9	17
唯一なる世界	柳 宗悦	18	22
松ヶ岡百首——川柳にあらはれた縁切寺の制度	穂積 重遠	23	31
文化生活と良心	高柳 賢三	32	35
科学的家庭経営の価値	森本 静子	36	40
私ども	上代 たの	41	44

宇宙観の変遷——トレミーよりハーシエルまで	山本 一清	45	46
文化生活と電気 (其一)	山本 忠興	47	50
文化生活研究講演会の記		(51)	

第二卷第二号 一九二二(大正一一)年二月一日

(*画)	A.	表紙	
紹介状濫発阻止同盟の提唱	吉野 作造	2	
文明反抗と『新文明』運動	森本 厚吉	3	8
戸	佐藤 功一	9	15
文化生活と電気 (其二)	山本 忠興	16	18
感謝	吉田絃二郎	19	22
京城雑信	富本 憲吉	23	28
改造途上の基督	森 明	29	31
郷土風景と文化的施設	田村 剛	32	41
非文化生活の心得書	杉田 直樹	42	44
新英雄主義 (下)	吉野 作造	45	48
別所梅之助氏著『ひとりの歌』より (*一節)			
(*別所梅之助)		48	

『松ヶ岡百首』中の句解に就て	沢田 薫	49	50
黒髪(*歌)	矢木小百合	51	
編輯室より		(52)	

第三卷第一号 一九二三(大正一二)年一月一日

(*画)	A.	表紙	
一九二二年と一九二三年	森本 厚吉	2	3
或る工学士の話から	吉野 作造	4	7

吉野博士著『二重政府と帷幄上奏』より(\*拔萃)

(*吉野作造)		7
---------	--	---

無抵抗主義とは何か	三宅雄二郎	8	10
文学と哲学との境	吉田 熊次	11	13
金持の若き男に	武者小路実篤	14	16
「魂のはぐたき」より(*歌)	(*野口精子)	16	
人間の心についての空想	吉田絃二郎	17	22
聖者と乞食の対話	柳 宗悦	23	28
野火(*歌)	九条 武子	29	
魂の羽／涙のみ(*詩)	武者小路房子	30	31
迷信の遊戯	松村みね子	32	36

部分的文化生活

上山満之進著『国民生活の安危』より(\*拔萃)

(*上山満之進)		37	41
----------	--	----	----

何故言論の自由なきか	安部 磯雄	42	46
生活の折衷主義から世界主義へ	森本 厚吉	47	51
賀正	文化生活研究会	(52)	
北海(*歌)	菊池 音吉	(52)	

第三卷第二号 一九二三(大正一二)年二月一日

(*画)	A.	表紙
------	----	----

通夜、読経、香奠返し等	吉野 作造	2	3
結婚生活の浪費問題	森本 厚吉	4	10
教へ子を恥かshめてはならぬ	末弘殿太郎	11	15
自由の権利観と義務観	高柳 賢三	16	20
秩序と芸術化——礼儀作法の真義の為に	手塚かね子	21	27
カーテン	森本 静子	28	32
別所梅之助先生著『ひとりの歌』より(*一節)	(*別所梅之助)	32	

音楽と他の芸術とを結び付けることに就て

田辺 尚雄 33 ~ 38

「お寺まゐり」より(\*俳句)

不卜 / 几董 / 丈草 / 一茶 20

エヂソン氏の最初の蓄音機 (田辺尚雄著『家庭に必要なる蓄音機の知識』より) (\*田辺尚雄)

奇蹟に就ての雑感 田中耕太郎 39 ~ 43

人生の価値

帆足理一郎 21 ~ 31

私の慕へる言葉

柳 宗悦 32 ~ 36

無抵抗と愛の生活 (帆足理一郎著『トルストイとガンデーの宗教思想』より)

道徳蔑視家の態度から 野口精子遺稿『魂のはばたき』より(\*抜萃)

神代 峻通 37 ~ 41

生活の本質

(\*帆足理一郎) 43

日の暮るゝころ

(\*野口精子) 41

軍隊宣誓拒絶問題に關連して

山内 繁雄 44 ~ 47

文化的住宅の庭園

吉田絃二郎 42 ~ 45

吉野博士『二重政府と帷幄上奏』より抜萃

(\*吉野作造) 52

山室軍平著『ロマ書余師』(\*書籍紹介)

上原 静子 46 ~ 51

さゝやかな生活より

沢田南海男 (53)

だんがたの家

佐藤 功一 52 ~ 57

第三卷第二号 一九二三(大正一二)年三月一日

小さいバンガロー (西村伊作著『田園小住宅』より) (\*西村伊作)

女児服と帽子の編方 森本 義子 58 ~ 59

(\*画)

A. 表紙

第三卷第四号 一九二三(大正一二)年四月一日

精神生活充実慾と其標準

森本 厚吉 2 ~ 5

我国に於ける唯物論者の三傾向

吉野 作造 6 ~ 14

文化的欺瞞と真生活

杉田 直樹 15 ~ 20

(\*画)

A. 表紙

民衆尊敬論

吉野 作造 2 ~ 3

文化生活対食物問題

森本 厚吉 4 ~ 8

愛国と生活問題（「新生活研究」より）

8

神への信仰に就て

柳 宗悦 9 ~ 21

森明著『科学と宗教』より（\*抜萃）

（\*森 明） 21

人の進化の方向

山内 繁雄 22 ~ 27

信仰と趣味と習慣

三宅雄二郎 28 ~ 31

三つ眼の蜥蜴（松村松年先生著『生物界の神

秘』より）

（\*松村松年） 31

コペルニクスを覚えよ！

山本 一清 32 ~ 35

新しい住宅の庭の相談をうけて

唯緑園主人 36 ~ 40

田村剛著『家庭に必要な庭園の知識』より抜

萃（\*田村 剛） 40

婦人の職業と家庭との問題

三宅やす子 41 ~ 44

人生の価値（承前）

帆足理一郎 45 ~ 55

迷中の悟（岡田哲蔵先生著『静観と思観』より）

（\*岡田哲蔵） 55

仏人の生活

大石 七分 56 ~ 58

前文 西村 伊作 56

編輯室より／寄贈雑誌

(59)

『文化生活の基礎』

第三巻第五号 一九二三（大正一二）年五月一日

ボックスに捧げられたる誤れる礼讃

永井 潜 2 ~ 10

法則が生活に生くるには

吉野 作造 11 ~ 12

宗教音楽の改造

田辺 尚雄 13 ~ 15

勤労と文化生活

柳 宗悦 16 ~ 21

節約について

杉田 直樹 22 ~ 28

瀟洒な小住宅の庭園

西村 伊作 29 ~ 32

西洋風の家（西村伊作著『楽しき住家』より）

（\*西村伊作） 33 ~ 36

柳の芽を眺めつゝ

三宅やす子 37 ~ 38

旅人のごとく

吉田絃二郎 39 ~ 43

チャンスン

沖野岩三郎 44 ~ 47

部落民の解放（述）

島崎 藤村 48 ~ 51

部落民と結婚悲劇（岡本弥著『特殊部落の解

『放』より)	(*岡本 弥)	51
文化生活の基礎(述)	有島 武郎	52
享楽より贅沢まで	三宅雄二郎	54
人の進化の方向(承前)	山内 繁雄	57
編輯室より		(63)

第三卷第六号 一九二三(大正一二)年六月一日

(*画)	A.	表紙
私共から観た今日の政界	吉野 作造	2
地獄の煙	永井 潜	12
月世界の昼の景色(古川竜城氏近著『月夜に憧れて』より)		16
ジェンナーをおもふ	小酒井光次	17
先づ汝の足下を視よ	帆足理一郎	23
両性関係の規律(帆足理一郎著『トルストイとガンデー』より)	(*帆足理一郎)	30
文化生活と精神生活	田中 竜夫	31
物質観の革命(田中竜夫著『物質観の革命』より)	(*田中竜夫)	33

造園の実際問題	唯緑園主人	34
庭園の改善(田村剛著『庭園の智識』より)	(*田村 剛)	37
歌法上の諸注意	柳 兼子	38
田辺尚雄著『音の知識』より(*拔萃)		43

五月の雲

雑感(\*詩)

農民文化といふこと(述)

日常生活の研究(質疑に答ふ)

編輯室より

第三卷第七号 一九二三(大正一二)年七月一日

(*画)	A.	表紙
程よき生活	三宅雄二郎	2
地獄の煙(承前)	永井 潜	7
素人法律観諸相	高柳 賢三	11
社会の真相と理想(牧野博士著『日本刑法』より(*拔萃))	(*牧野英一)	15
武者小路実篤	武者小路実篤	48
有島 武郎	有島 武郎	51
西村 伊作	西村 伊作	53
編輯室より		(60)
中条百合子	中条百合子	44
武者小路実篤	武者小路実篤	47
有島 武郎	有島 武郎	50
西村 伊作	西村 伊作	52
田辺尚雄	(*田辺尚雄)	43



農学士木村徳蔵氏の逸話（『読売新聞』文芸欄  
ヨリ転載） 有島武郎談

有島君の死に面して

吉野 作造

69  
〜  
70

謹んで有島武郎先生の逝去を弔ふ——編輯室

にて

(71)

第三卷第九号 一九二三(大正一二)年九月一日

(\*画)

自然の力と文化の探求

杉田 直樹

2  
〜  
8

文化生活と神社

佐野 利器

9  
〜  
12

印度哲学（矢部喜好氏訳『終極の実在』より）

(\*矢部喜好氏訳)

12

あらはれたがる心

小酒井光次

13  
〜  
17

別所梅之助氏著『霧の王国』より(\*抜萃)

(\*別所梅之助)

17

中世紀への弁護（承前）

柳 宗悦

18  
〜  
21

一神教（波多野文学博士著『基督教の起源』

より）

(\*波多野精一)

21

声なき土

吉田絃二郎

22  
〜  
26

祈するもの

富本 一枝

27  
〜  
35

山川丙三郎氏訳『ダンテ神曲』より(\*抜萃)

(\*山川丙三郎氏訳)

35

歌法上の諸注意（承前）

柳 兼子

36  
〜  
42

人の声音（田辺尚雄氏著『音の知識』より）

(\*田辺尚雄)

42

原始味の復活

上原 敬二

43  
〜  
46

西村伊作著『明星の家』より(\*抜萃)

(\*西村伊作)

46

地獄の煙（承前）

永井 潜

47  
〜  
49

酒が個人に及ぼす害（元田作之進著『社会病

理の研究』より）

(\*元田作之進)

49

日常生活の研究（読者の質疑に答ふ）

西村 伊作

50  
〜  
54

上海だより

永井 潜

(55)

編輯室より

(55)

第四卷第一号 一九二四(大正一三)年一月一日

(\*画)

A. 表紙



第四卷第三号 一九二四(大正二三)年三月一日

工学博士田中竜夫著『物質観の革命』の一節

(\*田中竜夫)

51

大地震と前兆

中村左衛門太郎

52  
55

如何にして永き生命を得るか——新生活法

西村 伊作

56  
60

編輯室にて

(61)

(\*画)

A. 表紙

法律の解釈

牧野 英一 2  
5

反逆の息子(承前)

永井 潜 6  
13

復興計画の核心と文化生活の基礎

佐野 利器 14  
16

象牙の塔を去るまで(『象牙の塔を出て』の一節)

厨川 白村 16

現代の紳士淑女

三宅雄二郎 17  
21

村の百姓の談話(一)(二)

永島 忠重 21  
37

日本婦人の洋装に就て

佐賀 房子 22  
25

新しい春の園芸

上原 静子 26  
30

芸術の相(『生活と文学』の一節)

有島 武郎 30

家庭で味ふべきレコード名曲の解説

田辺 尚雄 31  
37

神仏を盗む話

別所梅之助 38  
42

農村の青年に

帆足理一郎 42

現代の宗教詩

岡田 哲蔵 43  
48

増殖

石川千代松 49  
51

第四卷第四号 一九二四(大正二三)年四月一日

(\*画)

A. 表紙

軽佻なる批議

吉野 作造 2  
4

反逆の息子(承前)

永井 潜 5  
8

植物生活と人間生活——ルーサーパーバンクに就て

栗原 基 9  
19

日食観測と相對原理

山本 一清 20  
23

小鮎と大学教育

石川千代松 24  
31

暗示の芸術——田辺尚雄氏著『現代人の生活と音楽』

上代 たの 32  
35

ブラウニング(「宗教詩人としてのブラウニング」の一節)

グ」の一節) 35

あたたかい日に 三宅やす子 36 ~ 37

家庭で味ふべきレコード名曲の解説(二)

田辺 尚雄 38 ~ 41

住心地よき田園都市 安部 磯雄 42 ~ 46

田村剛著『家庭に必要な庭園の知識』(\*書籍紹介) 46

民衆の闇を行く時——島田三郎全集刊行の議に

参加して 木下 尚江 47 ~ 49

学校の教育 鳥居 龍蔵 50 ~ 52

森林を介して原始を味へ 上原 敬二 53 ~ 56

タンホイゼルの話(「運命以外の一路」より) 56

如何にして長き生命を得るか(承前)——新生

活法 西村 伊作 57 ~ 63

編輯室にて (64)

第四卷第五号 一九二四(大正一三)年五月一日

中村博士著『地震』より一節

(\*中村左衛門太郎)

死んだ科学と活きた科学 田中 竜夫 17 ~ 54

菩提樹下の静話 林 久男 23 ~ 27

国際主義運動 久留 弘三 28 ~ 31

ホルムス著『暴力否定』より(\*抜萃)

(\*ホルムス) 31

桜をみて 市川 房枝 32 ~ 33

調理器具について 手塚かね子 34 ~ 40

家庭で味ふべきレコード名曲の解説(三)

田辺 尚雄 41 ~ 46

パピニー著、柴田勝衛訳『きりすと伝』(『読売新聞』評)

生活の余情化 上原 敬二 47 ~ 50

西村伊作著『生活を芸術として』(\*抜萃)

(\*西村伊作) 50

右と左 石川千代松 51 ~ 54

如何にして長き生命を得るか 西村 伊作 55 ~ 60

山本一清著『火星が来るんだ』より(\*抜萃)

山本 一清 60

(\*画) A. 表紙

社会道徳の追加 三宅雄二郎 2 ~ 5

斯くて死者は瞑するか 杉田 直樹 6 ~ 11

生物の進化より見たる人間の将来 山内 繁雄 12 ~ 17

編輯室にて

(61)

文化生活研究会代理部(\*広告)

後付3

第四卷第六号 一九二四(大正一三)年六月一日

第四卷第七号 一九二四(大正一三)年七月一日

(\*画)

A. 表紙

(\*画)

A. 表紙

清蔭緩語

永井 潜 2 ~ 11

文化生活研究会代理部(\*広告)

前付5・前付8

人類生活と気象との關係(一)

築地 宜雄 12 ~ 17

日米問題の解決について

徳富健次郎 1 ~ 11

理想家の為に

田中耕太郎 18 ~ 22

人の働き盛りの期間

三宅雄二郎 12 ~ 16

夏季と犯罪

小酒井光次 23 ~ 24

杉田博士新著『誰か狂へる』より(\*抜萃)

排日問題私観

井上 秀子 25 ~ 28

(\*杉田直樹)

16

生活に変化あらしめよ

上原 敬二 29 ~ 32

叛逆の息子(承前)

永井 潜 17 ~ 21

立つ事、眠る事

別所梅之助 33 ~ 36

文化生活と両性問題に対する疑義

木村 徳蔵 22 ~ 28

踏査余聞

中村左衛門太郎 37 ~ 40

菩提樹下の静話(承前)

林 久男 29 ~ 34

竈と瓦斯の合理的な使ひ方

中村 栄代 41 ~ 47

仕上つた人パピニ

小松 武治 35 ~ 40

島田三郎全集の刊行と追想講演会

HNラッセル教授の宗教観(1)(2)(3)

家庭で味ふべきレコード名曲の解説(四)

山本 一清 40・45・76

私の幼時

田辺 尚雄 48 ~ 50

自殺と自傷

小酒井光次 41 ~ 45

幸福なる生活——如何に生活す可きか

鳥居 龍蔵 51 ~ 56

山の声

別所梅之助 46 ~ 51

西村 伊作 57 ~ (60)

そのまゝの相を

吉田絃二郎 52 ~ 56

砂文字(詩)

厨川 蝶子 57 ~ 60

肩の凝らぬ話 富本 一枝 61～66

家庭で味ふべきレコード名曲の解説 (五)

住 (すまひ) 田辺 尚雄 67～76

芝生の風趣 佐藤 功一 77～83

夫婦学校 井下 清 84～86

幼時の記憶 越智 真逸 87～92

島田三郎先生の追憶——私の日記から 鳥居 龍蔵 93～98

編輯室にて 吉野 作造 99～104

(105)

第四卷第八号 一九二四(大正一三)年八月一日

(\*画) A. 表紙

文化生活研究会無線電話部(\*広告) 前付 5

文化生活研究会代理部(\*広告) 前付 8

日本及朝鮮在勤米国男女宣教師諸君へ (英文)

徳富健次郎 1～9

移民法の実施と在米同胞の現状 (一)(二)(三)

(四)(五)(六) 有富虎之助 10・17・27・30・42・53

米国並に米国宣教師に告ぐ 住谷 天来 11～17

時局と音楽——対米問題と蓄音器関税引上問題

真のものに眼さめたい 田辺 尚雄 18～27

叛逆の息子 (承前) 別所梅之助 28～30

人類生活と気象との関係 (二) 永井 潜 31～34

夏の気象と俳句 築地 宜雄 35～42

山水経(\*歌) 国富 信一 43～47

夫婦学校 (その二) 太田 水穂 48～49

我国最初の立憲政体論 越智 真逸 50～53

編輯室にて 吉野 作造 54～64

文化生活研究会代理部(\*広告) 後付 2 (65)

第四卷第九号 一九二四(大正一三)年九月一日

(\*画) A. 表紙

文化生活研究会代理部(\*広告) 前付 13

文化生活無線電話部(\*広告) 前付 16

日米対話 (英文並に訳文) 内村 鑑三 1～4

法律的といふこと 牧野 英一 5～9

反逆の息子 永井 潜 10 ~ 15

文化生活と性問題に対する疑義 木村 徳蔵 16 ~ 20

高原文化の回復 杉田 直樹 21 ~ 28

我が書齋より——大学教授と実社会と

鳥居 龍蔵 29 ~ 35

『無線電話の基礎と其応用』近刊 35

復興私見——次の大震災と本建築に就て

中村左衛門太郎 36 ~ 38

二百十日物語——颶風の行動及原因、豊凶との

関係其他の話 風雲散人 39 ~ 48

夫婦学校（その三） 越智 真逸 49 ~ 51

スケッチ 三宅やす子 52 ~ 54

家庭で味ふべきレコード名曲解説（六）

田辺 尚雄 55 ~ 57

藤棚の下より 吉野 作造 58 ~ 66

地震後の津浪（中村博士『地震』の第一節）

（\*中村左衛門太郎） 66

編輯室より (67)

文化生活研究会代理部（\*広告） 後付 10

第四卷第一〇号 一九二四（大正一三）年一〇月一日

（\*画）

文化生活研究会代理部（\*広告）

文化生活無線電話部（\*広告）

星——イスラエル人のおもひ

反逆の息子

誰が子ぞ（『雲の柱』十月号より）

療病論

我国に於ける伝染病

夫婦学校

怪談奇談

無線放送と文化生活

質疑応答 レディオの研究

家庭で味ふべきレコード名曲解説（七）

金銭と人間生活

内地雑居と外地雑居

公人の常識——日々の感想

A. 表紙

前付 13

前付 16

別所梅之助 1 ~ 4

永井 潜 5 ~ 10

賀川 豊彦 10

三谷 隆正 11 ~ 15

村山 達三 16 ~ 22

越智 真逸 23 ~ 25

小酒井光次 26 ~ 29

赤坂 東司 30 ~ 34

佐々木 諦 35 ~ 37

田辺 尚雄 38 ~ 40

西村 伊作 41 ~ 44

三宅雄二郎 45 ~ 48

吉野 作造 49 ~ 57

編輯室より

58

文化生活研究会代理部(\*広告)

後付 1

第四卷第一一号 一九二四(大正一三)年一月一日

(\*画)

A. 表紙

文化生活研究会代理部(\*広告)

前付 11・前付 13

文化生活無線電話部(\*広告)

前付 16

独逸人は日本人を如何に観つゝあるか

林 久男 1 〱 8

商品の単一化と文化生活

上野 陽一 9 〱 15

海外旅券(一)(二)

永井 潜 15 〱 31

叛逆の息子

築地 宜雄 22 〱 24

人類生活と氣象との関係

木村 徳蔵 25 〱 31

ある夜思ふ

三宅やす子 32 〱 34

とちの葉(歌)

九条 武子 35 〱 36

家庭で味ふべきレコード名曲解説(八)

田辺 尚雄 37 〱 42

無題

42

室内裝飾の原理及實際 ヘルガ・イー・スワン 43 〱 47

金錢と人間生活(承前) 西村 伊作 48 〱 51

公人の常識——私の日記から 吉野 作造 52 〱 55

分つた様な分らぬ様な 小言 55

質疑応答 レディオの研究 ふつのみたま 56 〱 58

編輯室より 佐々木 諦 59 〱 60 (61)

第四卷第一二号 一九二四(大正一三)年二月一日

文化生活無線電話部(\*広告)

前付 1

愛読者諸氏に謹告

前付 2 〱 前付 3

文化生活研究会代理部(\*広告)

前付 4

平等に幸福になるの道

田村 剛 1 〱 4

叛逆の息子

永井 潜 5 〱 10

人類生活と氣象との関係

築地 宜雄 11 〱 13

書物を早く多く且よく読む法

杉田 直樹 14 〱 20

ス井スよりドイツへ——アインスタイン先生の

印象 石本巳四雄 21 〱 27

(\*埋草)

27

世相に対する疑問とその帰結

木村 徳蔵 28 ~ 30

宗教と文化

佐藤 繁彦 31 ~ 33

夫婦学校

越智 真逸 34 ~ 39

(\*埋草)

39

家庭で味ふべきレコード名曲解説(九)

田辺 尚雄 40 ~ 44

金銭と人間生活(承前)

西村 伊作 45 ~ 49

(\*埋草)

49

質疑応答 レディオの研究

佐々木 諦 50 ~ 52

公人の常識——私の日記から

吉野 作造 53 ~ 59

編輯室より

(60)

『文化の基礎』

第五卷第一号 一九二五(大正二四)年一月一日

性の問題

石川千代松 13 ~ 15

『第一期国会始末』(\*書籍紹介)

四出 芳郎 15

偶然の影

吉田絃二郎 16 ~ 20

外骨翁と私

吉野 作造 21 ~ 29

明治文化研究会の設立を祝して

29

より深き基礎

山本 忠興 30 ~ 32

エスペラントを国際補助語に——帝国学士院で

32

決定

32

国民の神経衰弱

三宅雄二郎 33 ~ 37

小学生の馬券買入問題

四出 芳郎 37

遺伝と精神

永井 潜 38 ~ 41

婦人参政権運動の方法

四出 芳郎 41

知らざるまゝに

別所梅之助 42 ~ 46

家庭で味ふべきレコード名曲解説(十)

(十)

田辺 尚雄 47 ~ 53

『明治文化研究会』の創立に就て

53

貧しければ

鳥居きみ子 54 ~ 55

女性の見聞

三宅やす子 56 ~ 57

夫婦学校 遺伝の話

越智 真逸 58 ~ 66

政党の選挙費用

66

文化の基礎

内村 鑑三 (1)

改題を祝す

丘 浅次郎 2 ~ 5

家庭に於けるデモクラシー

安部 磯雄 6 ~ 8

僧と俗

柳 宗悦 9 ~ 12

骨脱普選案評

田園都市の理想

交通整理

時代遅れの我家庭法

宗教は阿片なるか

敵を待つの名前の附け方

時事評論

政論解決の主役は誰か／地方役人の言論圧迫

／高等学校思想団解散問題／国家の利益と役

人の面目／正当なる労務と正当なる報酬

平仮名と片仮名

質疑応答

レディオの研究

小学生級長選挙問題

エスペラントについて

編輯室より

沖野岩三郎 67～74

千布 利雄 75～80

片山 哲 81～83

矢内原忠雄 84～87

87

四出 芳郎 96

佐々木 諦 97

吉野 作造 98～99

川原次吉郎 99

100

『質』と『数』と普選

ゲエテ戯曲とヒイローと其悲劇性に就て——我

等はゲエテなる人に、文化人なる語の最偉大

なる典型を見る

日本普選小史

森林と文化生活

遺伝と精神(承前)

『反逆の息子』(\*書籍紹介)

夫婦学校 肉体と精神との関係

読者一言——『文化ノ基礎』ニ対シテ

家庭で味ふべきレコード名曲解説(十一)

日本音楽研究

涙の壺

近時読書

逆徒藤左衛門

永井 潜 (1)

古屋 芳雄 2～11

K 生 11

田村 剛 12～18

永井 潜 19～21

越智 真逸 22～26

木 兎 庵 26

田辺 尚雄 27～29

望月光之助 30～31

竹尾 ちよ 32～34

藤森 成吉 35～37

四出 芳郎 37

イタリアに何を学ぶ——下位春吉氏の講演を聴く  
白柳 秀湖 38〜42

二十七歳の盲人代議士(\*大正一四年一月一日『大阪毎日新聞』より)  
42

人としての偉大性と専門家  
鈴木 義男 43〜47

公民教育と旅行案内  
四出 芳郎 47

農民問題の二面  
八木沢善次 48〜51

独逸民族の吾人に与ふる暗示  
林 久男 52〜56

(\*教育費問題について)  
K 56

質疑応答  
越智 真逸 57〜58

ホルモンに就て  
千布 利雄 58〜59

田園都市の土地問題  
佐々木 諦 59

レデイオに就いて  
K 生 60

編輯室より  
60

ゲエテ戯曲研究の論文に関する附記  
古屋 芳雄 60

第五卷第三号 一九二五(大正一四)年三月一日

社会の春

(1)

ゲーテ戯曲ヒーローと其悲劇性に就て(承前)

——我等はゲーテなる人に、文化人なる語の

最偉大なる典型を見る  
古屋 芳雄 2〜4

私の未来観  
木村 徳蔵 5〜7

不合理な離婚裁判  
片山 哲 8〜11

弱者保護の文化的基礎  
矢内原忠雄 12〜15

小話募集  
15

犬  
土岐 善磨 16〜22

一つの経験  
神近 市子 23〜25

看護余録  
奥 むめお 26〜29

よき日和(\*歌)  
若山 牧水 30〜31

日本音楽研究二 小鼓の打方  
八世望月太左衛門 32〜33

家庭で味ふべきレコード名曲解説(十二)  
田辺 尚雄 34〜38

夫婦学校 肉体と精神との関係  
越智 真逸 39〜41

(\*埋草)  
K 41

肉体美の要件  
山内 繁雄 42〜43

大声小声  
44〜45

音のよい日本食とさはりよき支那食

『家庭物理学十二講』を読み

上田 尚 46 ~ 49

耳隠しと七三

とき 49

姉と弟

松崎 実 50 ~ 54

政党の職分

川原次吉郎 55 ~ 58

質疑応答 レディオに就て

佐々木 諦 59

編輯室より

同人 60

第五卷第四号 一九二五(大正一四)年四月一日

巻頭言 余裕と創造

宗教的なることと宗教と

田中耕太郎 2 ~ 7

ゲーテ戯曲ヒーローと其悲劇性に就て(承前)

——我等はゲーテなる人に、文化人なる語の

最偉大なる典型を見る 古屋 芳雄 8 ~ 15

私の未来観(承前)

木村 徳蔵 16 ~ 21

(\*埋草)

K 21 ~ 28 ~ 34

日本音楽研究三 芝居の出囃子

望月光之助 22 ~ 23

家庭で味ふべきレコード名曲解説(十三)

田辺 尚雄 24 ~ 28

見掛倒しの文化住宅

千布 利雄 29 ~ 34

小学校の軍国主義的教育を懼る

松下 芳男 35 ~ 39

電気料金の計算法(近藤耕蔵氏著『家庭物理学

十二講』より)

(\*近藤耕蔵)

39

外国語は魔杖ならず

別所梅之助 40 ~ 43

(\*埋草)

K 43 ~ 46 ~ 57 ~ 77

脊骨の強い人

渡辺 善太 44 ~ 46

春の田園生活

上原 静子 47 ~ 49

(\*係より)

山内 繁雄 50 ~ 57

肉体美の要件(承前)

越智 真逸 58 ~ 63

夫婦学校 家庭と迷信

歴史的人物の敬称に就て

湯川 蜻洋 65 ~ 70

家庭と薬物

植 桃 人 71

世相の潮流 洋服日本人

ダルクローズの韻律運動ユーリズミックス

永田 竜雄 72 ~ 77

無線電話の社会に於ける利用

津守英五郎 78 ~ 79

編輯室より

同人 80

第五卷第五号 一九二五(大正一四)年五月一日

卷頭言 五月礼讃

社会と個人

農民の文化的意義

エベルト裁判の意義について

(\*埋草)

バウハウスとグロピウス氏

車上吟

閑暇漫語

道路安全

匠房偶語

職業婦人の収入

或る奇蹟の話

家庭で味ふべきレコード名曲解説(十四)

蓄音機

玉蜀黍は美を生む

釣魚趣味と文献

釣魚趣味と文献

矢内原忠雄	3	7	2
八木沢善次	8	13	
稲垣 守克	14	19	
大内秀一郎	20	25	19
永井 潜	26	27	
赤松 克麿	28	31	
佐藤 功一	32	34	31
松崎 実	35	40	
田辺 尚雄	41	49	
上原 敬二	50	52	
上田 尚	53	56	

旅人らはゆく

蜂の巣の生活から

チエホフの雑文

アントン・チエホフ、鈴木厚訳

編輯室より

第五卷第六号 一九二五(大正一四)年六月一日

卷頭言 手紙と生活

不良老年

六月行事

循環論と旋廻論

中枢神経系に関する薬物

文化生活と商品配給組織

(\*埋草)

歌詩

初夏のそら

少年を見る

陶器と樹

手紙 梟鳴く

吉田絃二郎	57	64	
井上 康文	65	72	
三宅雄二郎	3	6	2
田中 竜夫	8	14	
湯川 蜻洋	15	22	
藤本 昇	23	25	
K	25	55	
柳原 燁子	26	27	
高村光太郎	28	29	
富本 憲吉	30	35	
吉田絃二郎	36	41	
アントン・チエホフ、鈴木厚訳	73	83	84

夏目漱石氏の手紙（『漱石全集』より）

（\*夏目漱石）

41

梨花礼讃

竹尾 ちよ

42 ~ 44

十五行の葉書

K

45

非政同盟運動——吉野作造先生に

松下 芳男

46 ~ 50

破産者の手紙

新居 格

51 ~ 55

マルクス夫人の手紙を

嘉治 隆一

56 ~ 62

ラヂオを教授に応用

井上 康文

63 ~ 67

生活の幻想と現実

大内秀一郎

68 ~ 75

春から夏へ

有島武郎氏の手紙（『有島武郎全集』より）

75

（\*有島武郎）

チエホフの雑文（其の二）

75

アントン・チエホフ、鈴木厚訳

76 ~ 83

76 ~ 83

編集室より

84

第五卷第七号 一九二五（大正一四）年七月一日

アベラール、エロイーズの比翼塚（\*写真）

（2）

アベラールとエロイーズの比翼塚

園 頼三 3 ~ 18

土の宗教

渡辺 大濤 19 ~ 24

自然律から見た産児制限

安部 磯雄 25 ~ 29

中枢神経系に関する薬物（その二完）

湯川 蜻洋 30 ~ 39

（\*埋草）

K 39 ~ 46

興安嶺（\*歌）

鳥居きみ子 40 ~ 41

一つのつばめ——熱海に渡辺夫人を訪ふ（\*歌）

松村みね子 42 ~ 43

太陽系について

山本 一清 44 ~ 46

温泉地景情記

橋爪 健 47 ~ 52

青根温泉行

茂森登与志 53 ~ 55

六曜

新明 正道 56 ~ 60

西九州の旅の思ひ出

赤松 克麿 61 ~ 64

中禅寺湖畔の幻景

新居 格 65 ~ 70

妻坂峠を越える

井上 康文 71 ~ 73

家庭で味ふべきレコード名曲解説（十五）

田辺 尚雄 74 ~ 80

サラダの季節

曾我部香苗 81 ~ 83

編集室より

84

第五卷第八号 一九二五(大正一四)年八月一日

編輯室より

80

卷頭言 隣人への愛

K 2

私の科学と宗教観

木村 徳蔵 3 3  
12

女性の生理的特徴

越智 真逸 13 21

花祭りとの火の舞踊——ゼネヴ湖畔の花売りとの音

社会学と契約論

渡辺 大壽 3 12

楽、布哇キラウエア火山口の火祭舞踏

泉

新明 正道 13 22

住宅の建築に就いて

永田 竜雄 22 26

或る隨筆

大内秀一郎 27 31

閑卓放言

富士 辰馬 32 37

(\*埋草)

新居 格 38 40

或る日と或る日

富本 一枝 41 46

子供をめぐつて、母親の日記

奥 むめお 47 50

画室追放

吉田 謙吉 51 55

訪問

グレース・マクゴワン・クツク

大沢貞蔵訳 56 72

家庭で味ふべきレコード名曲解説(十六)

田辺 尚雄 73 79

第五卷第九号 一九二五(大正一四)年九月一日

卷頭言 運動奨励と思想善導

2

日本アルプス大観

矢内原忠雄 37 40

憤慨と感謝

市川 房枝 47 50

ふたば集

福永サヤカ 41 46

山の温泉から

鷹野 つぎ 51 56

夫婦づれ

越智 真逸 57 71

女性の生理的特徴(二)

吉野 作造 72 79

転地先から

編輯室より 80

編輯室より

## 『文化生活』執筆索引

### あ

- |          |  |         |  |
|----------|--|---------|--|
| 赤坂東司     | 4-10-30  | 上野陽一    | 4-11-9   |
| 赤松克麿     | 5-5-28, 5-7-61   | 上原敬二    | 3-9-43, 4-4-53, 4-5-47,<br>4-6-29, 5-5-50  |
| 姉崎正治     | 2-4-22   | 上原静子    | 3-3-46, 3-5-33, 3-7-38,<br>4-3-26, 5-4-47  |
| 安部磯雄     | 2-7-24, 3-1-42, 3-7-32,<br>4-4-42, 5-1-6, 5-7-25   | ヴォーリス   | 3-8-26・48, 4-1-60  |
| 阿部次郎     | 1-7-35   | 内村鑑三    | 3-8-49, 4-9-1, 5-1-(1)   |
| 有島武郎(A.) | 1-1-3, 1-2-35,<br>1-3-(1)・30, 1-4-36, 1-5-39,<br>1-6-3・37, 1-7-41, 2-1-(2)・27,<br>2-2-3・42, 2-3-46, 2-4-(2)・44,<br>2-5-3, 2-6-39, 2-7-表紙・(2),<br>2-8~12-表紙, 3-1~4-表紙,<br>3-5-52, 3-6-表紙・51, 3-7-表紙,<br>3-8-表紙・68, 3-9-表紙,<br>4-1・2-表紙, 4-3-表紙・30,<br>4-4~11-表紙, 5-6-75 | A       | 1-1-(34)   |
| 有富虎之助    | 4-8-10・17・27・30・42・53  | A.→有島武郎 |  |
| 石川千代松    | 1-4-12, 4-3-49, 4-4-24,<br>4-5-51, 5-1-13  | 大石七分    | 3-4-56   |
| 石本巳四雄    | 4-12-21  | 大内秀一郎   | 5-5-20, 5-6-68, 5-8-27   |
| 市川房枝     | 4-5-32, 5-9-47   | 大沢貞蔵    | 5-8-56   |
| 一茶       | 3-3-20   | 太田水穂    | 4-8-48   |
| 稲垣守克     | 5-5-14   | 丘浅次郎    | 5-1-2  |
| 井上秀子     | 2-7-48, 2-8-40, 4-6-25   | 岡田哲蔵    | 3-4-55, 4-3-43   |
| 井上康文     | 5-5-65, 5-6-63, 5-7-71   | 岡本 弥    | 3-5-51   |
| 井下 清     | 4-1-34, 4-7-84   | 沖野岩三郎   | 3-5-44, 5-1-67   |
| 上田 尚     | 5-3-46, 5-5-53   | 奥むめお    | 5-3-26, 5-8-47   |
|          |  | 越智真逸    | 4-7-87, 4-8-50, 4-9-49,<br>4-10-23, 4-12-34, 5-1-58,<br>5-2-22・57, 5-3-39, 5-4-58,<br>5-8-13, 5-9-57 |

### か

- |      |                  |
|------|------------------|
| 係    | 1-2-(38), 5-4-49 |
| 賀川豊彦 | 1-6-13, 4-10-10  |
| 嘉治隆一 | 5-6-56           |
| Kaz. | 1-7-(1)          |
| 片山 哲 | 5-1-81, 5-3-8    |

神近市子	5-3-23	佐々木諦	4-10-35, 4-11-59,
上山満之進	3-1-41		4-12-50, 5-1-97, 5-2-59, 5-3-59
河津 暹 <sup>せん</sup>	1-5-3, 2-3-30, 2-10-15,	佐藤 彰	1-5-25, 1-6-23, 1-7-23,
	3-8-32		2-1-40, 2-2-23, 2-4-23, 2-9-48,
川原次吉郎	5-1-99, 5-3-55		2-10-47
菊池音吉	3-1-(52)	佐藤功一	2-12-9, 3-3-52, 3-7-44,
几 董	3-3-20		4-7-77, 5-5-32
木下尚江	4-4-47	佐藤繁彦	4-12-31
木下利玄	4-2-39	佐野利器	1-4-17, 2-6-20, 2-9-19,
木村徳蔵	3-8-55, 4-1-25, 4-7-22,		3-9-9, 4-3-14
	4-9-16, 4-11-25, 4-12-28, 5-3-5,	沢田 薫	2-12-49
	5-4-16, 5-8-3	沢田南海男	3-2-(53)
九条武子	3-1-29, 4-11-35	茂森登与志	5-7-53
クツク, グレース・マクゴーン		島崎藤村	2-1-24, 3-5-48
	5-8-56	丈 草	3-3-20
国富信一	4-8-43	上代たの	2-3-27, 2-11-41, 4-4-32
神代峻通	3-3-37	植 桃 人	5-4-71
倉田百三	2-7-8, 2-11-9	白柳秀湖	5-2-38
栗原 基	4-4-9	新明正道	5-7-56, 5-9-13
厨川蝶子	4-7-57	末弘巖太郎	2-6-27, 3-2-11, 3-8-2
厨川白村	4-2-37, 4-3-16	杉田直樹	2-5-15, 2-6-15, 2-8-34,
桑木巖翼	2-8-13, 4-2-26		2-10-20, 2-12-42, 3-1-37,
K→森本厚吉			3-3-15, 3-5-22, 3-7-21・26,
K 生	5-2-11・60		3-9-2, 4-1-12, 4-5-6, 4-7-16,
小坂狷二	2-2-10		4-9-21, 4-12-14
小酒井光次	3-6-17, 3-9-13, 4-2-31,	鈴木 厚	5-5-73, 5-6-76
	4-6-23, 4-7-41, 4-10-26	鈴木義男	5-2-43
小松武治	4-7-35	住谷天来	4-8-11
古屋芳雄 <sup>こや</sup>	5-2-2・60, 5-3-2, 5-4-8	スワン, ヘルガ・イー	4-11-43
近藤耕蔵	5-4-39	清宮 彬 <sup>せいみや ひとし</sup> (彬)	1-1~7-表紙,
			2-1~6-表紙
	さ	曾我部香苗	5-7-81
		園 頼三	2-8-16, 5-7-3, 5-9-23
佐賀房子	4-3-22		

た

鷹野つぎ 5-9-51  
 高村光太郎 5-6-28  
 高柳賢三 2-9-12, 2-11-32, 3-2-16,  
 3-7-11  
 竹尾ちよ 5-2-32, 5-6-42  
 田中耕太郎 3-2-39, 3-7-16, 4-6-18,  
 5-4-2  
 田中竜夫 3-6-31・33, 4-1-49,  
 4-3-51, 4-5-18, 5-6-8  
 田辺尚雄 1-3-20, 2-1-29, 2-8-29,  
 3-2-33・38, 3-5-13, 3-6-43,  
 3-9-42, 4-1-27, 4-3-31, 4-4-38,  
 4-5-41, 4-6-48, 4-7-67, 4-8-18,  
 4-9-55, 4-10-38, 4-11-37,  
 4-12-40, 5-1-47, 5-2-27, 5-3-34,  
 5-4-24, 5-5-41, 5-7-74, 5-8-73  
 田村 剛 2-5-25, 2-7-16, 2-12-32,  
 3-4-40, 3-6-37, 4-12-1, 5-2-12  
 チェホフ, アントン 5-5-73, 5-6-76  
 千布利雄 5-1-75, 5-2-58, 5-4-29  
 中条百合子 3-6-44  
 築地宜雄 4-6-12, 4-8-35, 4-11-22,  
 4-12-11  
 津守英五郎 5-4-78  
 手塚かね子 1-2-19, 3-2-21, 3-8-29,  
 4-5-34  
 同人→森本厚吉  
 と き 5-3-49  
 土岐善麿 5-3-16  
 徳富健次郎 4-2-43, 4-7-1, 4-8-1  
 富本一枝 2-10-30, 3-9-27, 4-7-61,

5-8-41  
 富本憲吉 2-12-23, 5-6-30  
 鳥居きみ子 5-1-54, 5-7-40  
 鳥居龍蔵 4-4-50, 4-6-51, 4-7-93,  
 4-9-29

な

永井 潜 1-1-17, 1-3-14, 1-4-21,  
 1-6-15, 2-3-9, 2-4-10, 2-10-9,  
 3-5-2, 3-6-12, 3-7-7, 3-8-10・37,  
 3-9-47・(55), 4-1-2, 4-3-6,  
 4-4-5, 4-6-2, 4-7-17, 4-8-31,  
 4-9-10, 4-10-5, 4-11-16, 4-12-5,  
 5-1-38, 5-2-(1)・19, 5-5-26  
 永島忠重 4-3-21・37  
 永田竜雄 5-4-72, 5-8-22  
 中村左衛門太郎 4-1-23, 4-3-52,  
 4-5-17・54, 4-6-37, 4-9-36・66  
 NAKAMURA, T〔中村彝〕 2-6-(1)  
 中村栄代 4-6-41  
 中山昌樹 4-2-7  
 夏目漱石 5-6-41  
 成瀬無極 4-2-12  
 新居 格 5-6-51, 5-7-65, 5-8-38  
 西村伊作 1-2-14, 2-1-13, 2-4-13,  
 2-5-29, 2-7-34, 3-3-57, 3-4-56,  
 3-5-29・36, 3-6-53, 3-7-37・60,  
 3-8-44, 3-9-46・50, 4-1-37・41,  
 4-2-33, 4-3-56, 4-4-57,  
 4-5-50・55, 4-6-57, 4-10-41,  
 4-11-48, 4-12-45  
 野口精子 3-1-16, 3-3-41  
 能勢克男 3-7-35

## は

橋爪 健 5-7-47  
 波多野精一 3-7-20, 3-9-21  
 林 久男 4-5-23, 4-7-29, 4-11-1,  
 5-2-52  
 B 1-1-(34)  
 久留弘三 4-2-21, 4-5-28  
 彬<sup>せいみや</sup>→清宮<sup>ひとし</sup> 彬  
 風雲散人 4-9-39  
 福永サヤカ 5-9-41  
 富士辰馬 5-8-32  
 藤本 昇 5-6-23  
 藤森成吉 5-2-35  
 ふつのみたま 4-11-56  
 不 ト 3-3-20  
 古川竜城 3-6-16, 3-7-27  
 文化生活研究会 3-1-(52), 4-1-(69)  
 文化生活研究会代理部 4-2-30  
 別所梅之助 2-7-19, 2-12-48,  
 3-2-32, 3-8-22・25, 3-9-17,  
 4-1-45, 4-3-38, 4-6-33, 4-7-46,  
 4-8-28, 4-10-1, 5-1-42, 5-4-40  
 帆足理一郎 2-5-19, 3-2-43, 3-3-21,  
 3-4-45, 3-6-23・30, 4-3-42  
 ホイツトマン,ワルト  
 (ホキツトマン,ワルト,  
 ホイツトマン,  
 WALT HWITMAN)  
 1-2-35, 1-3-30, 1-4-36,  
 1-5-39, 1-6-37, 1-7-41, 2-2-42,  
 2-3-46  
 穂積重遠 2-11-23

## ま

牧野英一 3-7-15, 4-3-2, 4-9-5  
 松崎 実 5-3-50, 5-5-35  
 松下芳男 5-4-35, 5-6-46  
 松村松年 1-5-28, 2-1-35, 2-3-36,  
 2-4-32, 2-7-38, 2-9-42, 2-10-42,  
 3-4-31  
 松村みね子 2-6-24, 2-8-23, 3-1-32,  
 5-7-42  
 三谷隆正 4-10-11  
 三宅雪嶺→三宅雄二郎  
 三宅やす子 2-4-18, 2-9-23, 3-4-41,  
 3-5-37, 4-1-17・42, 4-4-36,  
 4-9-52, 4-11-32, 5-1-56  
 三宅雄二郎(三宅雪嶺) 1-1-13,  
 1-2-3, 1-5-21, 2-2-7, 2-6-11,  
 2-9-8, 3-1-8, 3-4-28, 3-5-54,  
 3-7-2, 4-3-17, 4-5-2, 4-7-12,  
 4-10-45, 5-1-33, 5-6-3  
 武者小路実篤 2-3-15, 2-6-41,  
 2-9-33, 3-1-14, 3-6-48  
 武者小路房子 3-1-30  
 村田 勤 1-6-26  
 村山達三 4-10-16  
 木 兎 庵 5-2-26  
 望月光之助 5-2-30, 5-4-22  
 望月太左衛門(八世) 5-3-32  
 元田作之進 3-9-49  
 森 明 2-5-14, 2-12-29, 3-4-21  
 森本厚吉(K. 同人) 1-1-(2)・22,  
 1-2-27, 1-3-2・25, 1-4-2・29,

1-5-9, 1-6-(2)・29, 1-7-3, 2-1-8,  
2-2-(2)・30, 2-3-3, 2-4-37,  
2-5-(2)・36, 2-6-3, 2-7-27,  
2-8-3, 2-9-2・26, 2-10-3, 2-11-2,  
2-12-3, 3-1-2・47, 3-2-4, 3-3-2,  
3-4-4, 5-2-56, 5-3-41・60,  
5-4-21・28・34・43・46・57・64・  
77・80, 5-6-2・25・44・45・55,  
5-7-39, 5-8-2  
森本静子 2-2-16, 2-11-36, 3-2-28  
森本義子 3-3-58

や

矢木小百合 2-12-51  
八木沢善次 5-2-48, 5-5-8  
ヤスヲ→Y  
矢内原忠雄 5-1-84, 5-3-12, 5-5-3,  
5-9-37  
柳 兼子 2-10-25, 3-6-38, 3-9-36  
柳 宗悦 2-1-18, 2-3-20, 2-5-7,  
2-8-17, 2-9-27, 2-11-18, 3-1-23,  
3-3-32, 3-4-9, 3-5-16, 3-8-16,  
3-9-18, 4-2-2, 5-1-9  
柳原燐子 5-6-26  
矢部喜好 3-9-12  
山内繁雄 3-2-44, 3-4-22, 3-5-57,  
4-1-18, 4-5-12, 5-3-42, 5-4-50  
山川丙三郎 2-4-31, 3-9-35  
山田わか 2-7-20  
山本一清 1-7-30, 2-1-47, 2-6-38,  
2-8-45, 2-9-36, 2-11-45, 3-4-32,  
3-7-63, 4-4-20, 4-5-60,  
4-7-40・45・76, 5-7-44

山本忠興 2-11-47, 2-12-16, 5-1-30  
湯浅吉郎 3-7-59  
唯緑園主人 3-4-36, 3-6-34  
湯川蜻洋 5-4-65, 5-6-15, 5-7-30  
与謝野晶子 2-3-19  
吉田熊次 3-1-11  
吉田謙吉 5-8-51  
吉田絃二郎 2-2-19, 2-8-41,  
2-10-38, 2-12-19, 3-1-17,  
3-3-42, 3-5-39, 3-7-55, 3-9-22,  
4-2-18, 4-7-52, 5-1-16, 5-5-57,  
5-6-36

吉野作造(吉野生) 1-1-10・31,  
1-2-(2)・8, 1-3-8, 1-4-3,  
1-5-2・16, 1-6-7, 1-7-(2)・19・38,  
2-1-3, 2-2-36, 2-3-(2)・40,  
2-4-3, 2-5-33, 2-6-(2)・34,  
2-7-3・44・47, 2-8-2・46・48,  
2-9-4, 2-10-(2)・24, 2-11-4,  
2-12-2・45, 3-1-4・7,  
3-2-2・48・52, 3-3-6, 3-4-2,  
3-5-11, 3-6-2, 3-7-50, 3-8-69,  
4-1-63, 4-4-2, 4-7-99, 4-8-54,  
4-9-58, 4-10-49, 4-11-52,  
4-12-53, 5-1-21・98, 5-9-72  
吉村冬彦 4-1-8  
四出芳郎 5-1-15・37・41・96,  
5-2-37・47

わ

Y(y・h, ヤスヲ) 1-4-(1)・45,  
1-5-(1), 1-6-(1)・3・44, 2-1-(1)  
若山牧水 5-3-30

渡辺善太  
渡辺大濤

5-4-44  
5-7-19, 5-9-3

渡辺鉄蔵  
和辻哲郎

2-8-25  
1-5-36